



指江学校給食センターの職員に花束をプレゼント↑

★ 長い間、ご苦労様でした

長島町立指江学校給食センターが、平成23年9月から鷹巣学校給食センターに統合されることになり、7月19日、指江の給食センターでは最後の学校給食の提供となりました。同センターは、平成8年4月から15年4カ月間、2つの中学校と4つの小学校に給食を提供し続けてきました。すべての作業が終了したこの日の午後、サプライズで長島中学校の生徒、川原凌一くん、飯尾翔磨くん、大西里美さんが花束を持って駆けつけ「今までおいしい給食をありがとうございました」とお礼を言いました。管理者の田中勝義さんは「今日が最後かと思えば大変さみしくなりますが、9月からは鷹巣の給食センターから栄養満点でおいしい給食を届けます」と話してくれました。

特別養護老人ホーム桃源郷の職場体験↓



★ 福祉の現場でふれあい活動

7月12日、獅子島中学校（祖母仁田政明校長）1・2年生12人が、特別養護老人ホーム桃源郷で職場体験学習を行いました。この目的は、福祉・ボランティア学習で学んだことを通して、自分にできることを考え、今後の進路選択に生かす機会となればと実施しました。体験学習の最後にはデイサービスの通所者らと風船バレーで交流し、生徒たちと高齢者は楽しく過ごしました。隣で応援していた宮之原スエさんは「一緒にいると元気がでます。たくさん笑いお腹いっぱいになりました」と話している間も笑顔が絶えませんでした。

緊急の際迅速に対応

6月24日、獅子島幣串集落立石自衛消防隊に、火事や災害の際役立ててもらおうと、作業車が幣串自治公民館（池田卓男館長）に引き渡されました。この立石自衛消防隊があるこの地区は、長島町消防団獅子島分団幣串班から約1km離れたところに集落があり、火事や災害などが発生した際、小型動力ポンプや消防資器材を私有車で運搬していました。池田卓男館長は「今後は、何かあった際すぐ対応できるようになり安心しました。大事に使わせていただきます」とお礼のあいさつを述べました。



配備された運搬用の軽トラック↑